

科 目 名

英 語 II English II

1年 後期 2単位 選択
(情報学科A)

西 田 直 美

概要・目標

後期の授業は、前期のテキストの後半を学習する。リーディング・ライティング・リスニングを多く取り入れ、TOEIC 受験のための文法の基本を押さえる。

授業計画

テキストの各 Unit を1レッスンで学習する。
プリント等を適宜配布し、

授業方法

テキストを中心に進めるが、単調な受身の授業ではなく、学生自身の自主性に基づいた授業を目指す。テキストのワード暗記・日英—英日などの練習をペアで行う。またミニテストなどで語彙力を増やす。リーディングの練習をすることでコツをつかみ、TOEIC の演習問題なども解く。

評価方法

出席率・平常点・発表力・本試験等を総合的に評価する。
再試験は行わない。

教 材

Robert Hickling、本多吉彦 共著 “English Edge” 金星堂 (2,100円税別)

科 目 名

英 語 II English II

1年 後期 2単位 選択
(情報学科B・C、機械A)

橋 本 春 男

概要・目標

外国語の学習には基礎学力の充実を図ることが最も重要である。1年次は特に既習の基礎的な知識を更に充実させることが必要である。英語IIでも聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの言語活動のなかで特に読むこと、書くことを中心に基礎学力の充実を更に目指す。

授業計画

- ① 接続詞 (I)
- ② 不定詞 (I)・動名詞 (I)
- ③ 受動態
- ④ 現在完了形
- ⑤ 接続詞 (II) (時制の一致を含む)
- ⑥ 5つの基本文型
- ⑦ 各種疑問文
- ⑧ 不定詞 (II)
- ⑨ 分詞・動名詞 (II)
- ⑩ 関係代名詞

授業方法

上記の目標を達成するために、英文法テキストを用いることにした。もっぱら練習問題を通して、文法、語法、構文、音声などに慣らさせ、基礎学力の充実を図る。

評価方法

平常点を加味して定期試験の成績で評価する。
単語テストも実施し成績に加える。

教 材

教科書：佐藤哲三(他)著、English Primer 大学生の英語入門(南雲堂)

科 目 名

英 語 Ⅱ English Ⅱ

1年 後期 2単位 選択
(機械B、ナノサイエンス、宇宙②)

川 野 富 昭

概要と目標

この講義は英語初級中級学習者の文法会話能力を向上させることを基本とします。それぞれの項目に応じて基本的な例文を引用し、それに対応する4技能を学習します。また、Listening 分野の副教材を併用することによって語学学習の基礎力養成を目的としています。講義には学生の積極的な演習活動を取り入れ、基本例文の暗誦等が組み込まれます。

講義計画

教 材

1. Introduction
2. Unit 7 分詞形容詞① ……Step 1, 2, 3
3. Unit 7 分詞形容詞② ……Step 4, 5, 誤文訂正
4. Unit 8 名詞① ……Step 1, 2, 3
5. Unit 8 名詞② ……Step 4, 5, 誤文訂正
6. Unit 9 接続表現① ……Step 1, 2, 3
7. Unit 9 接続表現② ……Step 4, 5, 誤文訂正
8. Unit 10 動詞① ……Step 1, 2, 3
9. Unit 10 動詞② ……Step 4, 5, 誤文訂正
10. Unit 11 前置詞と動詞① ……Step 1, 2, 3
11. Unit 11 前置詞と動詞② ……Step 4, 5, 誤文訂正
12. Unit 12 to 不定詞① ……Step 1, 2, 3
13. Unit 12 to 不定詞② ……Step 4, 5, 誤文訂正
14. Review Unit
15. 定期考査

講義方法

講義は学生の演習を中心とし、特に個人指導に配慮する。Listening, Speaking は副教材によって個人演習を主体とし、講義に対する緊張感を持たせる。

評価方法

演習結果に対する個人評価と小テストを総合的に判断し、定期考査60点に加える。
TOEIC 単語テストを日常的に実施し、平常点に加える。

教 材

テキスト：New Strategies for Stronger English Skills
著 者：倉田、横田、Craig Smith 他
発 行 所：KINSEIDO

科 目 名

英 語 Ⅱ

English Ⅱ

1年 後期 2単位 選択
(エコデザイン学科)

永 尾 悟

概 要

大学で専門科目を学ぶ際には、英語の文献に触れる機会も多いため、高校までに学習した英文法の十分な理解が必要である。本講義では、英語Ⅰと同様に既習の文法事項を復習しながら、英語の基礎的なリーディング・スキルとライティング・スキルの習得を目指す。また、学期中に合計10回の単語テストを実施し、TOEIC等の資格試験に対応できる語彙力を養成する。受講者は積極的な授業参加が求められる。

目 標

本講義の目的は、既習の文法事項を理解した上で、やや難解な英文の書き換え、和文英訳、英文和訳などが出来るようになることである。

授業計画

- 第1回：不定詞(1)
不定詞を理解し、基礎的な練習問題を解く。
- 第2回：不定詞(2)
前回の学習内容を踏まえて、不定詞に関する発展問題を解く。
- 第3回：動名詞(1)
動名詞の構造を理解し、基礎的な練習問題を解く。
- 第4回：動名詞(2)
前回の学習内容を踏まえて、動名詞に関する発展問題を解く。
- 第5回：能動態と受動態(1)
能動態と受動態を理解し、基礎的な練習問題を解く。
- 第6回：能動態と受動態(2)
前回の学習内容を踏まえて、能動態と受動態に関する発展問題を解く。
- 第7回：関係詞(1)
関係詞を理解し、練習問題を解く。
- 第8回：関係詞(2)
前回の学習内容を踏まえて、関係詞に関する発展問題を解く。
- 第9回：接続詞(1)
接続詞を理解し、基礎的な練習問題を解く。
- 第10回：接続詞(2)
前回の学習内容を踏まえて、接続詞に関する発展問題を解く。
- 第11回：比較(1)
比較級・最上級を理解し、基礎的な練習問題を解く。
- 第12回：比較(2)
前回の学習内容を踏まえて、比較級・最上級に関する発展問題を解く。
- 第13回：仮定法(1)
仮定法を理解し、基礎的な練習問題を解く。
- 第14回：仮定法(2)
前回の学習内容を踏まえて、仮定法に関する発展問題を解く。
- 第15回：定期試験

授業方法

授業の形式としては、まず重要事項の説明を行った上で、練習問題の解答・解説を行う。また、授業のはじめに単語テストを行う。単語テストの回数は、合計10回の予定である。

学習到達度の評価

- ① 定期試験により行う。
- ② 各単元の終了後に確認クイズを行う。学生は、模範解答を参考に自己採点し、その都度自分自身で学習の到達度を評価する。教師は、採点されたその答案を提出させ、学生の理解度をチェックしながら授業の進め方について工夫する。

評価方法

定期試験(70点)、単語テスト(20点)、課題(10点)で評価するが、提出課題、授業態度、出席状況などによって、多少の加点、減点をする。60点に満たなければ再試験を実施する。

教 材

教科書：中島最吉、今村 隆、橋本春男、西 忠温、池邊和彦、國津道雄、Peter B. Flaherty 著、*Practical English Grammar for College Students* 『大学実用英文法—改訂新版—』(成美堂)

科 目 名
英 語 II English II

1年 後期 2単位 選択
(宇宙航空システム工学科①)

ピーター・フラハティ

概要・目標

本授業は、英語を「listening」と「speaking」を中心に学習する教育過程である。DVD には、世界各国から来た人々が、自分たちのこと、現在の住まいである日本について語っているインタビューが多数収められている。そのオーセンティックな英語を段階的に学習しながら中級程度の聞き取り技能と発言能力を目指す。

授業計画

テ ー マ	内 容
1. <i>Orientation</i> :	シラバスの全体像を説明する
2. <i>Where are you from?</i>	国籍と職業
3. <i>What brought you to Japan?</i>	個人と社会的な肩書き
4. <i>What does your company do?</i>	組織と使命、市場と社会
5. <i>What's the challenge you face?</i>	人間関係と友情、成功と失敗
6. <i>What is your daily schedule?</i>	時間と行事、社会性とコミュニケーション
7. Your Turn (1)	復習、英語でインタビューを行う
8. <i>What's your favorite Japanese food?</i>	食物と好き嫌い、和食と習慣
9. <i>What surprised you in Japan?</i>	驚きと感動、期待と失望
10. <i>What are the differences?</i>	文化と思想、共生と衝突
11. <i>What can the world learn from Japan?</i>	国力と個人力、思い込みと誤解
12. <i>Has life in Japan changed you?</i>	変化と適応、刺激と成長
13. <i>What would you miss if you left Japan?</i>	便利さと贅沢、言語と同意
14. Your Turn (2)	復習、英語でインタビューを行う
15. 期末試験 :	60分間の筆記試験、学習達成度の確認

授業方法

教科書と映像に基づいて講義と演習をまじえてする。

学習到達度の確認

授業中に教員より質問し理解を促す。適宜、小テストを行い、学生に自己評価させて提出してもらう。学生の理解度をチェックしながら授業の進め方などを工夫する。

評価方法

定期試験の結果と授業態度や積極性によって平常点も加味する。60点に満たなければさらに再試験またはレポートで加点する。

教 材

教科書：GLOBAL ENCOUNTERS
著 者：Michiyo Maeda
発行所：Pearson Longman

履修上の注意

予習をしていることを前提に学習を始める。遅刻・欠席をしないこと

科 目 名
英 語 II English II

1年 後期 2単位 選択
(応用生命科学科A)

光 永 武 志

概要と目標

高校までに学習した英文法や語彙力を基礎として、英語Ⅱでも大学での専門科目を学んでいくための基本的なリーディング力やリスニング力の習得を目標とする。また、毎回小テストを実施し、TOEIC テストなどの資格試験に対応するための英語力を培う。随時、多読・多聴活動も取り入れて、英語に対する興味を喚起することも目指す。

授業計画

1. オリエンテーション
2. ～14.
テキストの内容に沿って順次進めて行く。
(詳細は1回目の授業の際に説明する。)
15. 定期試験

授業方法

基本的なリスニング力アップのための演習として、小テストを兼ねた練習問題を行う。また、テキストを使用して練習問題を解答しながら、読解力や語彙力をブラッシュ・アップする。

評価方法

定期試験 6割、小テスト・課題・出席状況などの平常点 4割で評価する。

教科書（前期 英語Ⅰの教科書継続使用）

Haruki Lee, *What's the Picture Saying?* 朝日出版社
 Masami Takahashi, Noriko Itoh, Richard Powell, *English through the News Media 2009 Edition*
 朝日出版社

科 目 名

英 語 II English II

1年 後期 2単位 選択
(応用生命科学科B)

西 田 直 美

概要・目標

後期の授業は、前期のテキストの後半を学習する。リーディング・ライティング・リスニングを多く取り入れ、TOEIC 受験のための文法の基本を押さえる。

授業計画

テキストの各 Unit を1レッスンで学習する。
プリント等を適宜配布し、

授業方法

テキストを中心に進めるが、単調な受身の授業ではなく、学生自身の自主性に基づいた授業を目指す。テキストのワード暗記・日英—英日などの練習をペアで行う。またミニテストなどで語彙力を増やす。リーディングの練習をすることでコツをつかみ、TOEIC の演習問題なども解く。

評価方法

出席率・平常点・発表力・本試験等を総合的に評価する。
再試験は行わない。

教 材

Robert Hickling、本多吉彦 共著 “English Edge” 金星堂 (2,100円税別)